

議題 1（委員会決裁事項（規則第 3 条第 1 号））

大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和 8 年度実施対象校（案）並びに大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備対象校（工業系高校）の募集停止時期（案）について

標記について、別紙のとおり方針を示し周知を行うことを決定する。その上で、様々な意見を踏まえ、令和 8 年 11 月の教育委員会会議において最終決定する。

令和 8 年 8 月 31 日

大阪府教育委員会

1 大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和8年度実施対象校（案）

（1）令和8年度の方針

令和8年度は、商業系高校の統合整備による新校設置及び国際関係学科設置高校における改編に着手する。

（2）統合整備により再編整備する学校

対象校 (所在地)	今後の方針
よど 淀商業高校 (大阪市西淀川区)	・3校を統合整備し、新たな商業系高校1校を設置する。 ・新校の開校時期及び学校地については、今後検討を進める。 ・統合整備による各校の募集停止時期については、新校の開校時期等を踏まえ、入学者の募集を停止する前々年度中に公表する。
つるみ 鶴見商業高校 (大阪市鶴見区)	
すみよし 住吉商業高校 (大阪市住之江区)	

（3）国際関係学科設置高校における改編

① 国際文化科及び総合科学科への改編

学科	対象校	所在地	改編時期
国際文化科・総合科学科	ひがし 東 高校 (普通科・英語科・理数科併置)	大阪市都島区	令和10年度 入学者から

② 普通科への改編

学科	対象校	所在地	改編時期
普通科	いちりつ高校 (普通科・英語科・理数科併置)	枚方市	令和10年度 入学者から

(4) 対象校の選定理由

◆ 統合整備校の選定

- ・ **淀商業高校**は、商業科と福祉ボランティア科を設置する学校であり、3年次には生徒の得意分野や進路目標に合わせたコース選択（会計コース・情報コース・流通コース）を設けている。また、起業体験型授業「アントレプレナーチャレンジ」において、地域の企業等と連携した大規模販売実習（淀翔モール）での企画運営や商品販売を体験できるカリキュラムを実施してきた。
- ・ **鶴見商業高校**は、商業科の単一学科を設置する学校であり、企業と連携した課題解決型学習として、「商品開発特別プログラム」を実施してきた。また、地元企業と連携した食品、飲料、生活関連用品などの商品開発や販売実習を実施するとともに、生徒一人ひとりの進路や興味関心に対応した学びを構成できる選択科目を設置し、自己実現を見据えた学びの選択が可能な教育課程を展開してきた。
- ・ **住吉商業高校**は、商業科の単一学科を設置する学校であり、1年次の授業「ライフプランニング」において、外部講師招聘等によりコミュニケーション力、分析力、プレゼンテーション力を育成してきた。2年次から3つの専門コースでの学びを実施しており、スペシャリストコースでは大学進学や高度な資格取得、観光コースでは観光企画による地域活性化、ジェネラリストコースではビジネスの基本的な知識・技術を幅広く学習してきた。
- ・ 一方、商業系高校の今後として、令和7年11月に策定した「府立高校改革アクションプラン」において、2040年を見据えた上で、「大学や企業と連携し、社会の変化を見据えた実践的な学びを提供し、大阪の経済・産業を支え、発展させる人材を育成していくことが求められる」旨を示している。商業系高校3校は、これまで専門教育を通じて、大阪の経済・産業を支える人材を育成してきたが、AI・デジタル技術の急速な進展や就業構造の変化を踏まえ、次世代の大阪の経済・産業の担い手の育成にとどまらず、大阪から新たなビジネスや価値を創出し、イノベーションを生み出す人材を育成する商業教育への転換が求められている。
- ・ そのような中、府教育委員会では大阪府学校教育審議会に対し、「今後の府立商業系高等学校のあり方について」諮問を行い、本年6月に答申を受けたところ。その中で、少子化や教育ニーズの高度化・多様化への対応、新たな商業教育の持続的発展のためには、教育資源の効果的な集約・活用が重要であること、新たな商業教育の中核となる学校の創設を視野に、商業系高校の集約化について、具体的な検討を進めることが望まれるとの提言を受けた。
- ・ また、府内公立中学校卒業者数の減少に伴い、3校においては、各校とも入学志願者数が定員を満たない状況が続いており、同校を志願する者の数の改善が見込めない状況となっている。
- ・ 以上のことから、3校を再編整備の対象校とすることとし、3校が進めてきた特色ある取組を発展させ、大阪府学校教育審議会からの答申を踏まえた教育内容を実践する学校として、3校を統合整備した新たな商業系高校を設置し、教育内容の充実を図る。
- ・ なお、新たな商業系高校の開校時期及び学校地については、今後検討を進める。

◆ 国際関係学科設置高校における改編

- ・ 「府立高等学校再編整備計画（令和5年度から令和9年度）」及び「府立高校改革グランドデザイン（令和7年3月）」に掲げた府立高校改革の具体的方策を示した「府立高校改革アクションプラン（令和7年11月）」に基づき、普通科及び専門学科（英語科・理数科）設置校における学科改編を行い、これまでの取組を発展・深化させる。

① 国際文化科及び総合科学科への改編

- ・ **東高校**は、国のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業指定経験校であり、大学や研究機関等と連携し、専門分野に関する外部講師による講演や少人数での探究活動を実施するなど、生徒が社会的課題を多面的に捉え、深く考察する力の育成に取り組んでいる。とりわけ、理数科・英語科においては、宿泊野外学習及び先端科学研修、異文化理解を促進する探究活動等、特色ある取組を行っている。

令和10年度入学生から国際文化科・総合科学科への改編を行い、国際的視野に基づくコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力の育成並びに現代社会や文化に関する理解の深化を図るとともに、数理的思考の基礎力及び科学的感性の育成を図り、専門学科における特色ある取組を推進する。

② 普通科への改編

- ・ **いちりつ高校**は、近隣の大学や地域の企業等と連携し、社会参画意識の醸成を目的とした3年間の系統的な探究学習を展開している。とりわけ、理数科・英語科においては、野外観察実習やネイティブ講師による少人数指導等を通じて、生徒の主体的かつ実践的な学びを推進するとともに、両学科における専門性の高い学びを全学科に波及させることにより、教育内容の充実を図っている。

令和10年度入学生から普通科への改編を行い、高校で学ぶべき基礎的・汎用的な知識・技能を育成する取組の充実を図るとともに、これまで英語科や理数科において実践してきた、高い英語運用能力や理数に関する素養を育成する取組の成果を生かし、普通科における特色ある教育活動を推進する。

2 大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備の対象校（東淀工業高校・泉尾工業高校）の募集停止時期（案）

対象校 (所在地)	募集停止時期
ひがしよど 東 淀工業高校 (大阪市淀川区)	令和10年度 入学者募集時
いずお 泉尾工業高校 (大阪市大正区)	令和10年度 入学者募集時

(参考)

- ・市立高校移管計画における工業系高校（東淀工業高校・泉尾工業高校・生野工業高校）の統合整備については、新工業系高校「F I O R A（フィオーラ）高等学校（仮称）」を令和10年度に開校予定。（令和8年6月教育委員会会議）
- ・生野工業高校（大阪市生野区）については、令和7年度入学者募集時より募集停止。
（令和5年11月教育委員会会議）